

インタビュー

大手監査法人での経験を経て、この2年間、審査会の検査業務に従事し活躍されてきた検査官のKさんに、審査会で働いてみての感想などについてお話を伺いました。

Q. 検査官となつての印象は？

K. 以前に勤めていた監査法人ではレビューの経験もありましたので、審査会の検査のイメージは分かっているつもりでした。しかし、実際に検査官として監査法人の責任者に指摘事項を伝えるときには、自分が監査法人側の立場だったらということを考えてしまい、想像以上に責任の重さを感じましたね。

Q. 検査官とは具体的にはどのようなことをするのですか？

K. 検査は、数名(大手へは10数名)の検査班で行いますが、主に品質管理体制を検証するグループと、個別監査業務について検証するグループに分かれています。品質管理班は、品質管理基準に沿って運用がきちんとしてきているかという観点でみています。一方、個別監査業務班は、監査調書の閲覧や監査チームの責任者にヒアリングを行い、その過程で問題点があれば、相手方と内容を確認し、指摘するというようなことをやっています。私は公認会計士ですので、主に個別監査業務班に属していました。もちろん、自分の勤めていた監査法人には行きませんよ。

Q. 検査のときに心掛けていることはありますか？

K. 検査を受けている監査法人の業務改善のために真に有用な指摘は何かといったことを常に考える、ということでしょうか。特に小規模の監査法人では、どう改善すれば良いか分からずに困っているといった場合も見受けられますので、法人の規模も踏まえながら、現状の足りない点を指摘するように心掛けています。その際には、当然ですが自分の思い込みではなく、指摘の客観性にも十分注意しています。

それから、限られた時間で監査法人を検査しなければなりませんので、効果的・効率的にできるよう、レビュー要点の重要性を考慮しながら検証するようにしています。それには、監査経験があるだけではなく、適切なレビューができることが必要になってくるのかなと思います。

Q. 検査官としてのやりがいとは何でしょう？

K. やはり、自分たちの行っていることが、監査業界全体の監査品質の向上と信頼性の維持に貢献しているということですね。

Q. 具体的には？

K. 「自分の監査法人の品質を高め、成長させていきたい」と語る中小監査法人の経営者は少なくありません。ただ、先ほども言いましたとおり、品質をどの水準まで高めれば良いのかとか、どこが足りないのかが分からない、と思っている方が多いようです。我々の検査を通じて、その足りない部分が明らかになり、「問題が発生する前に改善できて良かった」と感想を言われることもあります。そのようなときに一番やりがいを感じますね。

Q. 検査官としては、それはうれしいですね。検査官になって、自分にも何かプラスになったと感じますか？

K. 大手監査法人のトップや品質管理部門の責任者の方と直接お話ができたことはよい刺激になりますね。また、以前勤めていた監査法人とどこが違うのか、組織の全体像はもちろん、この法人はどこにプライオリティを置いているのかといったことなども分かったことは、いい経験になったと思います。

Q. 検査を通じて、自分も成長できるということですね？

K. はい。検査が終わった後に、検査対象の監査法人や個別監査業務から虚偽等の問題が発生する可能性はないとは言えません。そういう緊張感のなかで、どうすれば、その監査法人に対して有用な検査になるのか、限られた時間の中で、重要なポイントを検査の着眼点から漏らしていないか、といったことなどを常に頭に置きながら検査していますので、レビュー能力は向上したと思いますね。また、それは様々な業種における監査リスクを考える能力の向上にも繋がっていくものだと思います。

Q. これまでの経験から、検査官にとって一番必要なことは何だと思いますか？

K. 特別なスキルというのかどうか分かりませんが、検査の相手方に指摘内容を本当に理解してもらえる「コミュニケーション能力」が必要だと感じますね。基準への準拠だけを盾に形式的な指摘をしても真に有用な検査とはいえないと思います。品質管理基準委員会報告書第 1 号では、監査法人の品質管理体制は、「監査業務の質が合理的に確保される範囲において」、監査事務所の規模等によって異なる、とされています。したがって、自分の経験や知識を総動員して、この監査法人には何が不足していて、どこをどう改善すれば良くなるのかということを慎重に検討し、その上で担当者と議論を踏まえながら納得してもらうことが、重要なポイントだと思っています。その結果として自主的に改善に取り組んでいただければ本当にうれしいですね。

Q. 最後に、検査官を志望される方へのメッセージをお願いします。

K. はい。先程申しましたように、監査実務経験があるだけでは適切な検査はできないと考えています。現在監査法人で監査業務に従事しているのであれば、今からでも品質管理業務に携わるのも良いでしょうし、自分の監査法人の品質管理体制がどうなっているのか注視したり、監査法人内のレビュアーとして経験を積むなどして、よりスキルアップした状態で来てもらいたいと思います。検査官は、多くの業務執行社員と議論する必要がある上に、監査業界への影響、被監査会社やその投資家への影響も考えながら検査対象の監査法人の評価を行い、業界全体の品質向上と信頼性の維持に貢献することになるのですから。

Q. 本日はお忙しいところありがとうございました。今後ますますのご活躍を期待しております。

